



かわさき

第161号

議会だより

令和8年2月1日発行
福岡県川崎町議会

川崎町議会ホームページ

川崎町議会 検索

二次元コードからもご覧になれます▶

<http://www.gikai-kawasaki.com/>



担おう 地域づくり

シニアクラブ連合会のみなさん (P2・3・4)

12月 定例会議

みなさんの声聴かせてください …… 2

補正予算 …… 7

一般質問 …… 9

会員
募集中



みんなの声

質問内容

- ①昔はここがすごかった ②「もうひと花咲かせよう」これからこんなことをするぞ
③趣味 ④何かコメントを



山口 幸一さん(73才)

- ①朝早くから、夜遅くまでよく働きました
②デジタル難民を無くすぞスマホ教室を開くぞ
③山歩き
④皆さんと考え、行動し、反省もし皆で活動するのは楽しいです



合原 繁利さん(85才)

- ①中学、高校は野球
エースで4番
②米作りにもっと頑張ります
今10アール耕作
③カメラ
④心いやす花づくり



金高 和美さん(80才)

- ①ずっと農業で頑張りました
②80才ですが会社勤めを続けています
③ドライブ
④会員の皆さんとの対話、笑顔が大好き、地域への貢献も務めます



山野 千壽子さん(67才)

- ①睡眠不足でも、仕事を頑張りました
②健康で、あっちこっち旅行をするぞ
③読書
④いつまでも足腰丈夫で、友人や地域の人とおしゃべりしたいです



千葉 尚三さん(78才)

- ①郵便局で、午前0時に年賀配達に出発して終了後初日の出に行きました
②まだまだ78才、頑張るぞ！
③韓国ドラマ
④若い人に加入して欲しいです



吉田 正見さん(85才)

- ①高校時代は剣道4段九州中を登山
②元気で地域に貢献できるように頑張ります
③ペーパークラフト
④まずはこの一年を元気に過ごすこと、そしてまた来年

聴かせてください!!

今回は川崎シニアクラブ連合会の皆さんに聞いてみました!

2025年はシニアクラブ連合会として初めて統一した取り組みを提起し、「少しでもいい環境の中で運動会を実施してほしい。」との願いを込めて各小学校区内の単位クラブが運動会前に除草作業を行い、学校側からも感謝されました。



- ①仕事と家庭、しっかり両立よく頑張ったもんです
- ②プールで身体を鍛えます朝日俳壇入選を目指します
- ③俳句、プール
- ④シニアなりに、まだまだ何か社会の役に立つことがあります

萩尾 節子さん(81才)



- ①若いころから、わら細工と盆栽には精進して来ました
- ②わら細工と盆栽は奥が深い、極めるまで挑戦します
- ③カラオケ
- ④趣味を通じて地元の仲間と交流を深めたいです

山野 正一さん(73才)



- ①バスケ、野球、ボウリング、若いときは何でもやってきました
- ②次世代の育成に尽力したいです
- ③スポーツ
- ④川崎町が元気になればと願います

米田 勝さん(77才)



- ①軟式野球の内野を守り、町の大会に優勝しました民生委員もがんばりました
- ②まだまだ元気で地域に貢献したいです
- ③特にありません
- ④消防団として55年、団長も務めましたシニアの皆さんの元気で笑顔になれます

中村 法久さん(77才)



- ①はすの会を始めて40年、サンサンひまわりに30年
- ②はすの会とサンサンひまわり、社会教育でもうひと花咲かせます
- ③運動
- ④庭いじり、畑づくりはずっと続けます

上原 三代子さん(82才)



- ①はすの会を始めて40年地域の仲間づくりに頑張りました
- ②グランドゴルフの向上を目指しますはすの会も頑張ります
- ③旅行
- ④地域の仲間づくりにつとめ、健康を目的に楽しみます

富原 茂昭さん(82才)



みんなの**声**を**聴**かせてください!!

川崎シニアクラブ連合会

単位クラブ 18クラブ

会員総数 527名

1年間の主な活動

- ①総会
- ②シニアクラブ連合会役員会
- ③シニアクラブ連合会
- ④シニアクラブ連合会主催運動会
- ⑤年2回の健康づくり教室の開催
- ⑥年1回の日帰りバスハイクの取り組み
- ⑦シニアクラブ主催グラウンドゴルフ大会の開催
- ⑧新年三社参り(日帰り)
- ⑨1円募金箱を各家庭に、一定期間常設しての募金活動の取り組み
- ⑩地域貢献活動の展開するなど



総会



三社参り



運動会



健康づくり教室



グラウンドゴルフ大会



バスハイク



「電気料金の引き下げを求める意見書の提出について」

提出議員 ○櫻井 英夫 寺田 響 山下 美穂 (○は代表議員)

- 提出の理由**
- ①電気料金が高騰し、このことが物価高に拍車をかけている。
 - ②電気料金高騰の背景には太陽光など自然エネルギー買取に対する賦課金の請求がある。2012年に導入され13年が経過、当時は0.22円/kWhだったが現在は3.98円に値上がりしている。
 - ③13年間、まったく制度の見直しがされていない。

ご請求金額	1,300円	うち消費税	うち消費
(課税対象金額10%)			
ご使用量	31 kWh		
基本料金	632円48銭		
最初の120 kWh	569		
121 kWh ~ 300 kWh	0		
301 kWh ~	0		
燃料費等調整額	30		
再エネ賦課金	123円00銭		
口座振替割引	-55円00銭		

審議結果 全会一致で可決され、衆・参両院議長、総理大臣、経済産業大臣の4氏宛てに意見書を送付しました。

※意見書提出と時期を同じくして、政府での自然エネルギー買取制度廃止に向けた議論が始まっています。

「政時喜久美議員に対する懲罰動議」

提出議員 ○寺田 響 川根 節生 中山 信和 山下 美穂
樋口 秀隆 櫻井 英夫 手嶋真由美 松田 孝行
見月 康一 (○は代表議員)

提出の理由 令和7年12月2日に開会された第6回川崎町議会の会議において、政時議員の言動が会議規則にある「議員は、議会の品位を重んじなければならない」とする規定に違反した言動を行ったため。

※委員会条例により、懲罰動議が提出された時点で懲罰特別委員会が設置される事になっています。

有志による義援金を送りました

大分市佐賀関地域大規模火災により甚大な被害を受けた方々の復興に役立てていただきたいと議員一同願っております。

政時喜久美議員の懲罰 — 賛成多数で可決

議員除名となり即刻退席となる。

12月議会の5日に行われた本会議で「政時喜久美議員への懲罰動議」が出され、それを受けた「懲罰特別委員会」の審査を経て『除名決定』となり、特別多数議決—4分の3以上—の採決で11名の起立によりこれが「可決」、同時に政時議員は除名となりました。(15頁—議案賛否結果一覧参照)

反対議員は3名で、政時議員は本人の事案であるので採決に加われず除斥、もう1名は病気により欠席、という状況で14名での採決でした。

川崎町は昭和13年(1938年)の町制施行以来88年を数えますが、「議員除名決議—可決」は初めてのとても重たい事案だったとご理解ください。

懲罰動議提出、及び除名決議の背景

- ①議会内で、議員として守るべき条例規則等から逸脱した不穏当な言動を繰り返し秩序を乱し、重ねて、昨年11月28日に川崎町庁舎管理規則を犯し、許可なく玄関前で拡声器を使い自己の主張を行った。
- ②会議規則98条に「議員は、議会の品位を重んじなければならない」とあるように、議員として、社会人としても、住民の模範となるべく「決まり事」を守り「品格ある」言動をし「自らを律し社会秩序を守る」ことを大義として求められるが、これらから著しく逸脱していた。
- ③管理職、職員、議員に対し、根拠も証拠も示さず事実でないと思われる事柄を持ち出し、それぞれの誹謗中傷を昨年の2月から度々繰り返し名誉を毀損した、これはともすれば「冤罪」にも繋がりがねない危険をはらんだ行為であった。
- ④この2年間の数々の不穏当な言動に対し、議会は再三にわたり注意、戒告、辞職勧告などで対応したが、反省もなく全く効果がない。
- ⑤今、厳しい状況にある「川崎町」はこれから脱し、「道の駅新設」等、新しく明るい活力の地域を目指しているときに、この様な議員が町民の代表として居続けることはその評価を落とし折角の努力が台無しになることに繋がり、対外的に悪影響を及ぼす。

※以上の理由により、これまでの事案は看過できないとして懲罰特別委員会より「除名」の報告がされました。

除名に対する反対意見

- ①当人の町を思う心は、私たち以上に誠実に持っている人なので、本人の言っている内容は全て真実だと信じて除名には反対です。
- ②議員として町民の利益を守るために起こした行動だと信じています。思いが強すぎてこのような言動になっていると思うので除名という重い決定には反対です。

政時議員の弁明

- ①玄関前で拡声器を使っての行為に関しては全く本当ですので弁明はしない。
- ②ただ何らかの理由があるから町民が立ち上がった、今後もいろいろと明らかにしていきたい。

補正予算(10月会議)

●一般会計補正予算(第4号)

補正前の額	補正額	補正後の額
139億1,933万円	1,900万円	139億3,833万円

主な内容 ◆ 学校給食センター中央監視盤更新事業費の追加…………… 1,600万円

●川崎町学校給食センター特別会計補正予算(第3号)

補正前の額	補正額	補正後の額
1億7,482万円	300万円	1億7,782万円

主な内容 ◆ 学校給食センター落雷対応修繕料の増額…………… 300万円

補正予算(12月定例会議)

●一般会計補正予算(第5号)

補正前の額	補正額	補正後の額
139億3,833万円	6億6,220万円	146億53万円

主な内容 ◆ かがやけ川崎応援寄附金事業費の増額…………… 1億2,368万円
 ◆ 愛光園施設改修工事費の追加…………… 1,600万円
 ◆ 公債費抑制のための地方債繰上償還費の追加…………… 1億5,134万円

●川崎町学校給食センター特別会計補正予算(第4号)

補正前の額	補正額	補正後の額
1億7,782万円	71万円	1億7,853万円

主な内容 ◆ 職員人件費の増額…………… 71万円

●川崎町国民健康保険事業勘定特別会計補正予算(第2号)

補正前の額	補正額	補正後の額
18億2,309万円	1億1,323万円	19億3,632万円

主な内容 ◆ 一般被保険者療養給付事業費の増額…………… 7,000万円

●川崎町後期高齢者医療特別会計補正予算(第3号)

補正前の額	補正額	補正後の額
3億234万円	58万円	3億293万円

主な内容 ◆ 職員人件費の増額…………… 46万円

※金額については、千円以下を四捨五入しています。

規約改正



議案第22号 田川地区斎場組合規約の変更について

議案第23号 田川地区斎場組合の解散について

議案第24号 田川地区斎場組合の解散に伴う財産処分について

議案第25号 田川地区広域環境衛生施設組合が統合することに関連して各種手続きを行うもの

内容

令和8年4月1日より田川地区斎場組合と田川地区広域環境衛生施設組合が統合することに関連して各種手続きを行うもの

〔財産の取得－2件〕

①「道の駅」整備事業用地取得

現在「道の駅」の令和10年春の開業に向けて計画が進んでいる当該地の議会承認が必要な面積と金額が上程され可決承認されました。

面積は 8,936 m²、金額は約 6,264 万円でした。

②「塵芥回収車」町の財産として取得

これまでは、塵芥回収事業を委託された業者が必ず新車を購入することが義務付けられ、その代金は町が委託するための費用として組み込まれていましたが、これでは無駄が多すぎるとの判断から、今後は町が購入した「塵芥回収車（パッカー車）」を業者に貸し付けることで経費の削減をはかろうとするものです。



現在使用されている
パッカー車

〔町立愛光園の運営は民間法人に移ります〕

令和8年4月から愛光園の運営を民間法人に委譲することが決定されたことに伴い、「愛光園の設置条例」の廃止について、賛成多数で可決されました。なお、福岡県には、同様の老人ホームが36施設あり、川崎町以外は、民間法人により健全運営されています。よって、民間法人に運営を委譲することにより、今後の町の財政負担軽減と永続的健全運営が図られるものと考えられます。

また、愛光園の施設を10年間にわたり無償で貸し付けることと、愛光園の備品や物品などを無償で譲渡することについても、一部議員より反対意見が出されましたが、賛成多数で可決されました。無償貸付と無償譲渡は、今後の愛光園の運営を円滑に引き継ぐためのものであります。



▲愛光園

一般質問 よりよいまちづくりをめざして

一般質問とは、定例会議において、各議員が住民の代表として、行政全般にわたり町当局の考え方や疑問をたずねることです。質問・答弁の詳細は二次元コードから見れます

町政を問う!!

動画はコチラ



問 5歳児健診の導入を

答 前向きに検討



てしづみゆみ 手嶋真由美 議員

議員

5歳前後は言語、社会性感情調整、注意力など多くの側面で発達の偏りが見えやすい非常に重要な時期。3月議会で5歳児健診の必要性について質問したが、その後、十分な検討が進んでいない状況と受け止めている。なぜ実施に至っていないのか。

健康づくり課長

現在実施している乳幼児健診とのスケジュール調整や健診医や専門スタッフの確保などが難しいため、5歳児健診の実施に至っていない。

議員

今後導入に向けてはどのように検討を進めていく

のか。

健康づくり課長

5歳児健診は努力義務であるため、今後は、財源の確保やドクター等と協議し前向きに検討していきたい。

問 搾乳コーナーの設置を

答 需要があれば、考えたい

議員

本町の搾乳コーナーの設置状況は。

健康づくり課長

子育て支援センターには授乳、搾乳室を設置。

議員

本町の公共施設には授乳室がある施設もあるが、

搾乳を前提とした設備はない、新たに搾乳コーナーを設置または拡充する考えがあるか。

健康づくり課長

新たな設置や拡充については、数多くの需要があれば今後考えたい。



他に町営住宅等の照明器具関連について質問しました。

動画はコチラ



問 イノシシ被害対策と防護柵整備の促進を

答 国や県の動向を見ながら考えていきたい



かわね せつお 川根 節生 議員

議員

本町におけるイノシシ被害の現状と推移について、町としてどのように把握しているのか。

農林振興課長

本町のイノシシ被害の現状は令和6年の稲作被害として、面積では360アール被害量16,416Kgとなっている。

議員

防護対策として有効的なフェンスや電気柵が十分確保できていない状況だと聞いているが、設置のための予算や補助金、交付金等の拡充をどのように考えているのか。

町長

国や県の補助金の動向を見ながら新設はこれまでどおり、補修は一部負担に切り替えるなど、農業者支援を町とJAなどと一緒になって来年度に向けて考えていきたい。

問 基金活用を視野に入れた仕組みづくりを

答 基金を作るまえに農業者の一部負担など検討し考えていく。

議員

予算の確保と資材の継続的な管理の取り組みにつ

いて、本町は基金などの仕組みを視野に入れ予算の安定確保、被害対策の継続的支援などの仕組みを考えているのか。

町長

基金を作るまえに直近の現状は毎年対応できるような仕組みづくりを農業者の一部負担などに変えていけるよう、検討を行いながら考えていく。





動画は
コチラ

問 先先の先!町制施行90周年祝賀準備を

答 町を挙げたお祝い事業にしたい



議員

3年後に町制施行90周年記念事業を行うなら、①公開番組誘致、②幅広い子ども参加、③社会教育功労者表彰、その他早めの準備を望みたい。

町長

町制90周年は、ちょうど令和10年、本町「道の駅」開業と重なり、これまで以上に町を挙げた事業内容にしたい。マスコミ各社にも相談していきたい。

教育長

様々な提案を検討しながら準備を進めたい。



▲50周年事業の記念碑

める。またドラッグストア新規進出により賑わいが生まれるものと思っている。

問 交流事業で川崎中学校を鍛えよう

答 姉妹校事業は検討課題

議員

川中生徒の社会的スキルを高めるためどのような取組をされているか。他中学校との姉妹校締結、ネット交流事業を導入してはどうか。

教育長

川崎特別支援学校中等部との交流、社会人に学ぶ交流学习、職場体験学習などを行っているが、議員提案の件については検討し中学校にも伝えておく。



▲60周年事業の記念のタイムカプセル

問 川崎町4地区の均衡ある公共投資を

答 常に念頭におき町政を進める

議員

安貞木、田原、池尻に比べて川崎地区の再開発(リボン)は手薄ではないか。

町長

道路整備、廃校(幼・小・中)利活用、図書館充実を進

動画は
コチラ

問 バス運行について川崎町、田川市、添田町の協議は可能か

答 田川市が参加なら協議をしたい



議員

西鉄バスの朝の便が10月から廃止になり、通勤・通学に支障が出ている方の現状は把握しているのか。

防災管財課長

現在聞いていませんが、今回の見直しに伴い、支障のある方や逆に利便性が向上したという方もおられると思う。

議員

通勤通学というのは人生にとって大切な事だと思う。現状把握して対処していただきたい。添田発の便は富山町から川崎役場入口、東洋団地入口、池

尻以外は停まらない。添田町に停留所を増やしてほしいという要望は出しているか。

防災管財課長

要望等、協議は添田町と常に行っている。

議員

田川市から添田方面に行かれる方もいると思うので、西鉄バスが走っていた幹線道路を田川市、添田町と一緒に合同で走らせることは可能か。

町長

西鉄バスの運行の際、負担金を払っていましたが、田川市は入っていません。田川市が参加するなら協議をしたい

と思っている。

他に観光リンゴ園、学校現場の留守電、体育館等の空調設備等について質問しました。



動画は
コチラ



問 De・愛公園の工事でムダな工事をしてないか

答 庁内で検討し事業を進めている



まさときくみ 議員

議員 De・愛公園の工事で駐車場のアスファルトを削って工事しているが無駄な工事をしていないのか。

商工観光課長 隣接する地権者から公園整備に協力したいと申出があり検討した結果、整備事業をすることになり既存の公園にある駐車場を移動したものだ。

議員 地元の要望があつて協力したいと言ったら予算がつくのか。

町長 今回は地元の要望と地権者の理解と協力の申出があつて

あつて庁内で検討し事業を進めた。

議員 工事は何工区、一括で出しているか。

商工観光課長 造成工事は3工区発注で全部で6工区。

議員 De・愛裏にオートキャンプ場を作る計画は地元の賛同が得られず断念したが調査費はどのくらい。

商工観光課長 調査費、測量設計委託費1177万円です。

議員 De・愛裏にオートキャンプ場整備計画が無いのに

何故用地を購入するのか。

町長 農業の振興を図る高収益の農業生産の研修所をつくる。

※社会教育の不明金についての質問があつたが、町としては地方自治法の規定をもとに処理しているため発言停止となつた。

政時議員は12月11日除名となりましたが、一般質問は12月10日に行なわれました。

議会日誌

10月	
8日	議会運営委員会
10日	第5回川崎町議会(10月会議)
委員会	
9・23日	総務常任委員会
14日	民生文教常任委員会
6・17日	建設産業常任委員会
2・10日	広報広聴常任委員会
21日～23日	建設産業常任委員会 行政視察

11月	
26日	議会運営委員会
委員会	
5日～7日	民生文教常任委員会 行政視察
11日	建設産業常任委員会
12日～14日	総務常任委員会 行政視察
20日	民生文教常任委員会
21日	総務常任委員会
21日	議員研修 (田川郡町村議長会主催)

12月	
第6回川崎町議会(12月定例会議)	
2日	本会議
3日	委員会(総務・民生・建産)
4日	議会運営委員会
5日	本会議・広報広聴常任委員会
9日	予算決算常任委員会(補正予算)・ 全員協議会・特別委員会
10日	本会議(一般質問)・特別委員会
11日	本会議(最終日)

議会の傍聴
においでください
………
次回定例会予定

- ◎3月 3日…本会議(初日)
- ◎3月 6日…本会議(中日)
- ◎3月13日…本会議(一般質問)
- ◎3月16日…本会議(最終日)

傍聴する場合は役場3階の傍聴席入口で住所・氏名・年齢をご記入ください。

議会ホームページからは生中継がご覧いただけます。



傍聴されるみなさんをお願いします

- ①会議中の私語は慎んでください
- ②携帯電話はマナーモードにするか、電源をお切りください

みなさまのご協力をお願いします

委員会レポート

委員会の活動状況を報告します

議会では年4回の定例会の休会中は、それぞれの委員会に分かれ、所管の現地調査や机上審議をしています。



民生文教常任委員会

○子育て支援センターの運営状況

町民の声をしっかり把握し、理解するよう要望

子育て支援センターでは、現在5つの主要事業を実施しています。まず、地域子育て支援センター事業では、年2回の子ども・子育て支援会議を開催し、支援計画書を作成しています。次に、エンゼルサポーター事業では、ひとり親世帯の一時的な生活支援を行い、家庭生活支援員を派遣します。三つ目は養育支援訪問事業で、要対協家庭への専門的な養育相談を実施しています。四つ目の利用者支援事業では、育児講座や子育て相談、イベントを通じて支援を提供しています。最後に、地域ネットワーク機能強化事業では、要保護児童対策地域協議会を設置し、関係機関と連携して支援しています。委員会からは「わくわく広場」での子育て相談について、町民の声をしっかり把握し理解するよう要望しました。

○生活困窮者へのサポート状況

貧困対策に関する要望を県や国に届けるべきである

2023年9月時点で、川崎町の生活保護受給者数は2,136人、世帯数は1,529世帯で、被保護率は人口ベースで14.66%、世帯ベースで18.30%となっています。近年、受給者数や世帯数は減少傾向にありますが、その原因は明確ではありません。生活困窮者への支援として、福岡県自立相談支援事務所が就労支援や家計改善、住居確保給付金を提供し、生活立て直しをサポートしています。福岡県社会福祉協議会は、社会福祉資金貸付けを行い、川崎町社会福祉協議会はフードバンクから食料支援を実施しています。また、福岡ライフレスキュー事業では、緊急時に食材費や光熱費の支援が行われています。委員からは、貧困対策に関する町の政策をより一層客観的に把握し、町の要望を県や国に上げていくべきだという意見がありました。

○行政視察研修レポート

「書かない窓口」と「リーディングDXスクール事業」を研修しました

11月に静岡県浜松市と吉田町を訪れ視察研修を実施しました。浜松市では「書かない窓口」について研修をしました。

これは、住民が書類を手書きで記入する手間が省かれ、必要事項を入力するだけで申請書が自動で作成されます。

住民は書類に署名・捺印をするだけで、手続きが完了し、証明書交付や住民異動届けなどの待ち時間の削減や職員の負担軽減が実現しています。

川崎町でも早期に住民の負担軽減や事務の効率化の取り組みを進める必要を感じました。

吉田町では「リーディングDXスクール事業」を研修しました。

吉田町の小中学校では、端末とクラウド環境を使って協働的な学びを実践しています。生徒が自ら学びを整理、共有する活動を行っています。

川崎町でも教育現場でのDX導入を進めるための研修を深めていくことが重要だと感じました。



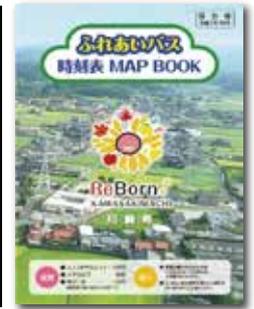
▲吉田町での研修



総務常任委員会

ふれあいバス時刻表をもとに説明を聞きました

おでかけコース	役場、福祉センター、豊前川崎駅を通り田川病院や後藤寺方面へ
安宅コース	大きな変更点はありません。これまで通り、主な停留所は、役場から駅、松本病院、町立病院、De・愛、旧真崎農協、黒木入口、安宅公民館上安宅で折返しします。
上真崎コース	今までの木城・荒平コースに上真崎コースを足した形になりました。
池尻コース	大きな変更点は、池尻郵便局から、豊前の公民館、上原坂を通して、田川病院まで接続し、帰りは田原の中を通して、役場まで戻ります。
三井コース	一日5便のうち、3便を町立病院を経由して、De・愛まで延伸します。



選挙の投票所と掲示場変更の統合前と統合後の比較について説明を受けました

	統合前	統合後	
投票率	46.10%	49.06%	3ポイントアップ
投票所	11	7	人件費・経費等削減
ポスター掲示	72	50	設置、撤去に伴う委託料削減



懸念していた統合による投票率の低下もなく、選挙に係る経費も削減できたということが確認できました。

委員会からの要望

今後、投票所への移動支援等に町民からの要望がある・なしにかかわらず、役場から提示していただきたい。

行政視察報告（三重県木曽岬町、多気町）

木曽岬町 わいわい市場の取り組みについて

人口減少という課題に各課から選ばれた職員でプロジェクトチームを作り、地域の活性化につながる取り組みを行っています。住民や出店者を巻き込んだ実行委員会主催のこの市場は、役場職員に依存せず自由なアイデア発想で自立してイベントを開催することによりその結果、経費を掛けずにイベントを開催する事ができています。今後はボランティア精神による運営から経営的視点でのイベント運営を目指していくそうです。この研修を通して、10年後も住み続けたい川崎町活性化を見据え、子供から大人までが共に学び交流し、チャレンジ・創造していく、まちづくりに活かして行きたいと感じました。



▲木曽岬町

多気町 VISON(複合施設)内の自動運転バス運行の取り組みについて

国がすすめる「公共交通確保維持改善事業費補助金」の採択を受け、地域づくりの一環として行うバスサービスの自動運転の持続可能性を実証検証をし、将来的なドライバー不足を見据えた自動運転を可能にしようとするものです。安全な交通運行に向けて試行錯誤を繰り返して、将来的には商業施設内だけでなく、一般道への運行を目指していく計画を聞き、人口減少と高齢化率の加速が進む中、この自動運転バスは新たな公共交通手段として期待されており、川崎町の未来を見据えた交通インフラの整備に向けた意識高まる研修視察となりました。



▲自動運転バス



建設産業常任委員会

正しいごみの分別を

ごみの分別

- ①可燃ごみ ②不燃ごみ
- ③カン ④ビン
- ⑤ペットボトル ⑥プラスチック
- ⑦粗大ごみ ⑧小型家電
- ⑨新聞・段ボール ⑩リチウム電池

令和7年2月まで



令和7年3月から

カンとビンは分けずに指定袋に入れてごみ出し。

新ごみ焼却場の完成に伴い、今までのカン・ビンの指定袋にそれぞれを分けてごみ出し。

委員会からの提言 → カンとビン、それぞれの指定袋が必要ではないか。

ビンのキャップの分別

プラスチック製
キャップ



燃えるゴミ

スチール製
キャップ



不燃ごみ

Q キャップ専用のごみ袋をつくっては?

A 専用の袋となるとコストもかかり、現段階では難しい。

町内に約1,200カ所のごみステーションがあり、違反ごみは「違反シール」を貼り、地元管理のごみステーションでは、問い合わせがあれば現場に行き、間違いを説明後、手直しをして回収。

そうでないごみステーションでは違反シールを貼っても問い合わせもなく、違反シールがボロボロになってもそのままの状態での放置。⇒現在の課題

委員会からの要望 → ごみの分別・出し方のよりよい周知方法を検討し、スムーズな分別へ一歩一歩確実に進めてもらいたい。

研修視察報告（岩手県北上市、盛岡市）

企業誘致の取り組み（北上市）

農業地域で、冬になると収入が絶たれ、若者が東京に出ていくため、昭和初期、企業誘致構想が浮かぶ。

「子どもたちと一緒に住み続けたい」「若者たちを地域に残したい」一心から、地域を発展させるには産業の振興が不可欠、ポイントは「工業」と判断するが、地元工業の育成には時間がかかるため、工場を誘致すれば、「産業」と「雇用」が地域に生まれると考え、地域全体で工場誘致による地域振興を図った。

このことは、子どもたちが実家や周辺に居を構えることで農業にも好影響を与え、農家収入の安定化にもつながった。市長が替わっても「工業化」ということは変わらずに企業誘致を行っている。

立地条件等があり難しい企業誘致だが、何のため誘致するのか、確固たる思いが必要と感じた。



もりおかの食と農バリューアップアクションプラン（盛岡市）

農畜産物の高付加価値化と販路拡大を推進し、更なる認知度向上や利用促進、消費拡大を図ることで、農家の所得向上（儲かる農業）や食関連産業の活性化を目指すため、「もりおかの食と農バリューアップ戦略」を策定。

主な取り組みは、ウェブサイト、SNS、盛岡の食と農を応援するファン組織の立ち上げ、保育園での「盛岡りんご」絵本の読み聞かせ、高校生向けに生産現場見学やスイーツ開発を行う。特に「りんご」は、市長によるトップセールスや、「ここはりんごが喜ぶところ」というキャッチフレーズで庁舎や駅前、商店街に横断幕等を掲げ PR。あらゆる層へ情報発信した結果、盛岡産を意識して購入する人、地産直売所の利用者数が増えるといった販売促進の成果あり。

川崎町も農作物が豊かなので、認知度向上や川崎町でしか体験できないことを創出できればと実感した。



お詫びと訂正

前号(第160号)の建設産業常任委員会レポートの記事の中で

誤 堤体の一部 **正** 全部

誤 果樹部会 **正** 普通作部会

以上の誤りがありました。お詫びして訂正いたします。

令和7年度第5回川崎町議会(10月会議)

議案一覧と賛否結果

区分	案件	内容	賛否の結果											
			千葉	寺田	川根	中山	政時	山下	樋口	櫻井	手嶋	繁永	松田	杉本
報告	専決処分 (町営住宅家賃滞納金請求及び住宅明渡請求)	建物明渡等請求の訴えの提起	報告のため採決はありません											
財産	財産の取得	ペーパーレス議会用端末の購入	(可決) 簡易表決											
補正 予算	一般会計	P7を参照	(可決) 簡易表決											
	特別会計(給食)	P7を参照	(可決) 簡易表決											

令和7年度第6回川崎町議会(12月定例会議)

議案一覧と賛否結果

区分	案件	内容	賛否の結果															
			千葉	寺田	川根	中山	政時	山下	樋口	櫻井	手嶋	繁永	松田	杉本	見月	松岡	手嶋	
報告	専決処分 (川崎町議会議員及び川崎町長の選挙における選挙運動の公費負担に関する条例の一部を改正する条例)	条例の一部改正	報告のため採決はありません															
規約 解散等	田川地区斎場組合同規約の一部の変更	田川地区斎場組合の解散に伴う文言の追加	(可決) 簡易表決															
	解散、財産処分	田川地区斎場組合の解散、財産処分	(可決) 簡易表決															
条例	町長、副町長、教育長の給与条例	人事院勧告に伴う条例の一部改正	(可決) 簡易表決															
	一般職職員の給与に関する条例		(可決) 簡易表決															
	単純な労務に雇用される職員の給与の種類及び基準に関する条例		(可決) 簡易表決															
	会計年度職員の給与及び費用弁償に関する条例		(可決) 簡易表決															
	愛光園設置条例を廃止する条例		P8を参照	○	○	○	○	●	○	○	○	○	○	○	●	○	●	○
取得	財産の取得[道の駅]整備事業用地	P8を参照	(可決) 簡易表決															
	財産の取得(塵芥回収車)	P8を参照	(可決) 簡易表決															
補正 予算	一般会計	P7を参照	●	○	○	○	除	○	○	○	○	○	●	○	⊗	○	○	○
	特別会計(給食・国保・後期)	P7を参照	(可決) 簡易表決															
譲渡等	財産の無償貸付及び無償譲渡について	P8を参照	●	○	○	○	⊗	○	○	○	○	○	●	○	●	○	⊗	○
町道	町道路線の区域変更	2路線の区域変更	(可決) 簡易表決															
発議	電気料金値下げの意見書	P5を参照	(可決) 簡易表決															
動議	政時喜久美議員に対する懲罰について	P5を参照																
懲罰	政時喜久美議員に対する懲罰処分について	P6を参照 (特別多数議決により議長も表決に加わり賛成)	●	○	○	○	除	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○

賛否表の表示は、○賛成、●反対、⊗欠席、⊕退席となっています。

※簡易表決とは

あらかじめ議員全員の賛成が見込まれる場合に、議長が賛成者の起立を求めず「異議ありませんか」と諮ることにより可否を問う採決方法です。

今回の
主人公



川崎シニアクラブ連合会
会長

てしま ひであき
手嶋 秀昭 さん(83歳)

会長として一言

会の悩みは

組織の拡大である。定年延長が進む中で70歳まで働くことが普通となっており、退職して会員になってくれと言っても、今更と言ってなかなか入ってくれない。

単位クラブの会長が亡くなったり、高齢となり会長が辞任したりすると、あとを引き受けてくれる人がいなくて、解散するケースがいくつか発生。新しくクラブを発足させようと、関係者協議をして、いよいよ立ち上げの段階で会長になる人がいなくて、会が発足できないというケースもあり、悩ましい日々が続いている。

会員のみなさまへ

現在会員として、活動している皆さんは、若々しく元気いっぱい活動を展開してくれているので、私はもちろんの事、役員一同も元気をもらいながら、楽しく活動を進めることが出来て感謝している。

追跡レポート

学校トイレの改修
どこまで進んでる？

川崎小学校と池尻小学校については和式トイレの洋式化と多目的トイレの設置の改修が終わりました。

真崎小学校は令和8年度中に予定。

東小学校については、真崎小学校の改修後に、予定しています。



改修前



改修後



多目的トイレ改修後

編集 後記

新しい年を迎え気持ちも新たにスタートしました。本年も議会の動きをより身近に分かりやすくお伝えできるよう、工夫を重ね手に取って読んでいただける広報を目指してまいりますので、どうぞよろしく願いいたします。(真)



- 議 長 大 谷 春 清
- 「発行責任者」
- 副委員長 中 山 信 和
- 委員長 手 嶋 真 由 美
- 委員 山 下 真 穂
- 委員 樋 口 秀 隆
- 委員 櫻 井 英 夫
- 委員 松 田 孝 行
- 「広報広聴常任委員会」